



「心が温かくなる竹細工」

おおば たかし
大場 崇志 さん

宇治

作ることが大好きで9年前から竹細工を始めました。今は老人会(塩田研精会)の竹細工同好会で、先生を呼んで毎月1回のペースで活動しています。研精会会長の内藤孝さんもメンバーのひとりです。使う竹は裏山にあって、8月に真竹と孟宗竹を切ってきます。毎年年末になると来年の干支を作ります。工房では来年の馬の準備が進められていました。秋の物産祭では地域の子もたちと一緒に竹とんぼを作ったそうです。工房には他にもたくさんの作品が飾ってありました。大場さんの作品はどれも心が温かくなるものばかりでした。「元気の秘訣は好きなことを好きなだけやって自分らしく生きてるから。」と話す大場さんはいきいきしていました。



ギザギザの部分を棒でこすると、振動でプロペラが回るおもちゃ。